

～約1万年前の縄文ワールド 第8弾～

# 取掛西貝塚を考える

## 石器から読み解く縄文の暮らし

船橋市初の国史跡

講師

橋本 勝雄 氏

千葉県文化財保護協会（評議員）

### 「旧石器から縄文石器へ —石器が語る時代の変革—」

日本列島の旧石器時代の終末から縄文時代の初めには、この頃の**急激な自然環境の変化**に適応して、北方系細石刃石器群を皮切りに、石斧、大型尖頭器、有舌尖頭器、石鏃などの**様々な石器が新たに考案されました**。もちろん、船橋市内の考古資料も、この状況と無縁ではありません。

今回は、東日本をモデルケースとして、その移り変わりを眺め、あわせて市内の関連資料の再評価を行う機会にしたいと思います。



講師

大工原 豊 氏

國學院大學栃木短期大学 日本文化学科 教授

### 「縄文石器の研究から分かること」

縄文時代の研究というと、まず縄文土器が頭に浮かぶと思います。しかし、**縄文石器**の研究からも生業・流通システム・集団の特徴や差異など、**さまざまな事が分かる**のです。この講演では**千葉県を中心とした**いくつかの具体的研究事例をあげて、現在私が行っている縄文石器研究の成果について、分かりやすく紹介してみたいと思います。

講演会の難易度

【入門】  
取掛西貝塚  
や考古学を  
初めて学ぶ

【一般】  
歴史や  
考古学に  
興味がある

【専門】  
日頃から  
考古学を  
学んでいる



千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん

令和  
8年

3月15日

日

13時30分～16時30分

※13時開場



申込

船橋市スマート申請 または 往復はがき



2月1日(日)～13日(金) スマート申請は、23:59まで  
往復はがきは、期日必着  
当選結果に関わらず、2月27日(金)までにご連絡を差し上げます



会場

船橋市民文化創造館（きららホール）

船橋市本町1-3-1 フェイスビル6階

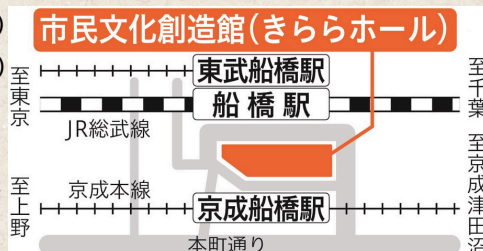
定員

210名(事前申込・多数抽選)  
(参加費無料)

お問い合わせ

船橋市教育委員会 文化課  
文化財保護係

☎ 047-436-2887



※往信用の宛名欄は、住所不要です

85 円	2738501	船橋市教育委員会 文化課行	返信 裏
住所欄に記入しないでください			白紙
代表者の住所			
85 円	代表者の郵便番号	代表者の住所	往信 裏
代表者の名前様			① 代表者のお名前 ② 代表者の住所 ③ 代表者の電話番号 ④ 参加希望人数 (一度に2名まで可能)
代表者の名前様			



# ～10,000年前から紡ぐ、“ふなばし”の誇り～

## 国史跡 取掛西貝塚



空撮写真

01  
POINT

### 1万年前の暮らしがここに！ —東京湾東岸部最古の貝塚—

船橋市に、約1万年前の縄文人の生活を今に伝える貴重な遺跡があることを知っていますか？  
当時の人々は、山や海の恵みを受けながら、ここで豊かな生活を営んでいました。  
この取掛西貝塚は、「海とともに発展してきたふるさと船橋」の歴史的起点であるのです。

02  
POINT

### 縄文人の知恵と技術が 詰まった「宝物」たち

貝塚から見つかった数々の道具が、1万年前の人々の暮らしを今に伝えます。  
漁や狩りに使った道具、煮炊きや貯蔵に使った土器、貝殻で作った装飾品など...  
土器や石器とともに出土したこれらの品々からは、昔と今の暮らしの様子の違いが見えてきます。



調査風景

03  
POINT

### 未来へつなぐ、船橋の国史跡 —みんなで守り、活かす—

取掛西貝塚は、令和3年に船橋市で初めて国史跡に指定されました。  
縄文時代早期前葉の集落跡では、約1万年前の関東地方で最大の遺跡です。  
私たちの足元に眠る1万年前の記憶——  
それは、「船橋の誇り」であり、これからの未来を考えるヒントにもなります。

## 船橋市の文化

自然の恵みが豊かな船橋市には、早くから人が住み始めていたことから、今でも多くの文化財が残っています。  
また、お祭りや音楽祭など、誰もが楽しめるイベントが開催されています。



もっと知りたい人は、右の二次元コードから、  
「市HP 取掛西貝塚 特設ページ」などをチェック！



< お問い合わせ先 >

船橋市教育委員会 文化課

☎ 047-436-2887



市HP

FOLLOW US



船橋市教育委員会文化課【公式】